

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社バイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
1	開示情報の時点	開示情報の日付	必須	2019/10/31	
- 事業所・事業					
2	事業所等の概要	事業者名	必須	株式会社バイキューブ	
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須	1998年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)		21年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須	〒108-0072 東京都港区白金一丁目17-3 NBFプラチナタワー16階・17階
	事業所数(国内、国外)		国内:7		
	主な事業所の所在地		東京都(2ヶ所)、大阪市(1ヶ所)、名古屋市(1ヶ所)、福岡市(1ヶ所)、和歌山県(1ヶ所)、仙台市(1ヶ所)		
5	事業の概要	主な事業の概要 事業者の主要な事業の概要 (ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須	ビジュアルコミュニケーションツールの企画・開発・販売・運用・保守 企業などへのビジュアルコミュニケーションサービスの提供	
- 人材					
6	代表者	代表者氏名	必須	間下 直晃(ました なおあき)	
		代表者写真	選択	添付資料にてご確認下さい。	
		代表者年齢		41歳	
		代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)		慶応義塾大学大学院理工学研究科前期博士課程修了	
7	役員	役員数	選択	10名	
		役員氏名及び役職名		代表取締役社長 CEO 間下 直晃 代表取締役副社長 COO 高田 雅也 常務取締役 CRO 水谷 潤 取締役 CTO 亀崎 洋介 社外取締役 村上 憲郎 社外取締役 西村 憲一 社外取締役 中野 創 常勤社外監査役 福島 規久夫 社外監査役 小田嶋 清治 社外監査役 砂田 有史	
8	従業員	従業員数	選択	244名 *有報にて公開	
- 財務状況					
9	財務データ	売上高	必須	5,924,816,000円(2018年12月期)	
10		経常利益	選択	271,670,000円(2018年12月期)	
11		資本金	必須	3,451,291,000円(2018年12月期)	
12		自己資本比率	選択	35.6%(2018年12月期)	
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	選択	4.0年(2018年12月期連結ベース)	
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	選択	33.6倍(2018年12月期連結ベース)	
15		上場の有無	選択	有・東証一部	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	選択	①
17		決算公告	選択	無(有価証券報告書を提出しているため)
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	選択	間下 直晃18.08, 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)17.86, 地域中核企業活性化投資事業有限責任組合 12.29, 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)7.09, トミーコンサルティングインク 2.81
19	取引関係	大口取引先	選択	武田薬品工業株式会社、シャープマーケティングジャパン株式会社、株式会社内田洋行、株式会社学研メディカルサポート、バイオニア株式会社
20		主要取引金融機関	選択	三菱UFJ銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、りそな銀行
21		所属団体	選択	公益社団法人経済同友会
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	間下直晃(代表取締役社長)
23		専担の部署・会議体	選択	あり: コンプライアンス・リスク管理委員会
24	文書類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	情報セキュリティ基本方針書(自社HPにおいても公開)
			上記の文書類の経営陣による承認の有無	経営陣の承認あり
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	販売管理規程
			上記の文書類の経営陣による承認の有無	経営陣の承認あり
26	ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	必須	あり: クレーム管理規程	
		上記の文書類の経営陣による承認の有無	経営陣の承認あり	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
-	サービス基本特性			
27	サービス名称	申請したASP・SaaSのサービス名称	必須	V-CUBE
28	サービス開始時期	申請したASP・SaaSのサービス開始年月日(西暦)	必須	2003/7/16
		サービス開始から申請時までの間の大きなリニューアル等実施の有無と、行われた場合はリニューアル年月日(西暦)		<p>あり</p> <p>月に1回程度、逐次機能拡充を実施しています。 2018年1月~2019年10月には各サービスにおいて実施。 主な内容は次のとおり。</p> <p>① V-CUBE Box (ア) Logical Screen Shareで画面転送および画面共有する機能 (イ) プロキシ設定に自動検出(WPAD)、自動構成スクリプト(PAC)を追加する対応</p> <p>② V-CUBE Gate 大幅な機能変更の実施は行っておりません</p> <p>③ V-CUBE ONE (ア) 電話会議連携 国コード対応 (イ) 他社終端製品からの当社サービスへの移行に際してアカウント発行機能</p> <p>④ V-CUBEコンタクトセンター (ア) 画面共有時のマウスポインタ表示改善 (イ) 動作環境チェックページにおいて、macOS/AndroidのOSバージョン判定基準を、動作環境に合わせた変更</p> <p>⑤ V-CUBEセミナー (ア) 受講者名のリアルタイム一覧表示 (イ) 視聴ログキャパシティ増強 (ウ) チャット・アンケート機能追加</p> <p>⑥ V-CUBEミーティング5 (ア) オンライン販売開始に伴う決済プラン、決済方式の適用 (イ) クラッシュ時にWindowsダイアログが表示されて処理が止まってしまうことのないよう、Boxの自動再起動が動作するように修正 (ウ) メンバー、会議室のグループ管理機能追加 (エ) 会議室並び替え操作のドラッグ&ドロップ対応 (オ) 安定性向上のための会議サーバ冗長化 (カ) 会議記録 録画再生のHTML5プレイヤー対応 (キ) 画面共有のレスポンス向上</p>
29	サービス内容	サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス
30	サービスの内容・範囲	申請したASP・SaaSのサービスの内容・特徴 <500字以内で記述>	必須	ブイキューブが提供するビジュアルコミュニケーションサービスは、離れた場所同士で、映像・音声を使い双方向で通信することで、離れたいながらまるでその場に居るかのようなコミュニケーションを可能にしたサービスです。 特に、在宅勤務やテレワークに代表される、働き方改革を実現させるために必要不可欠な、人と人とのコミュニケーションをあらゆるシーンでサポートします。 主なサービスは会議などで利用可能な「V-CUBE ミーティング」、研修や教育で利用可能な「V-CUBE セミナー」、オンライン営業専用の「V-CUBE セールスプラス」などがあります。 また、導入後の運用サポートや24時間365日のカスタマーサポートや、などきめ細かなサービス提供を行い、日本の働き方改革をサポートしていきます。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>		<p>あり(V-CUBE ミーティング)</p> <ul style="list-style-type: none"> PGI社との連携。PGI社の提供する電話会議システムからも会議への参加が可能。 Microsoft社との連携。日本マイクロソフトのクラウド型認証基盤「Azure Active Directory」を利用し、「Office 365」から「V-CUBE」へのシングルサインオン、ならびに、「V-CUBE」を利用するWeb会議やWebセミナーの予約情報の「Office 365」の「Outlook」へのスケジュール自動同期。 <p>あり(V-CUBE Box)</p> <ul style="list-style-type: none"> レノボ・ジャパン。日本市場をメインターゲットとして開発したレノボの「ThinkCentre M700 Tiny」を、「V-CUBE Box」本体の筐体に採用し共同でテレビ会議を共同開発、提供。
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	カスタマイズは、SIIにて対応
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	6ヶ月前
		告知方法		Webサイト、電子メール

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
33	サービスの 変更・ 終了	サービス(事業)変更・終了後の対応・代替措置	必須	無し	
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無し	
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		なし:原則として情報資産を保持しないため	
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	カスタマーサポートセンター vsupport@vcube.co.jp TEL:0570-00-2192 24時間365日対応	
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	V-CUBE ボイス、V-CUBE トランスレーター、ミーテルは、利用時間に応じた従量課金	
		固定部分の課金方法		利用サービスごとに、利用プランに応じた基本料+オプション使用料を課金	
36	サービス 料金	料金体系	必須	初期費用額	
				月額利用額	V-CUBE One(V-CUBE ミーティング、V-CUBE セミナー、V-CUBE ドキュメント、V-CUBE セールス&サポート、V-CUBE Gate)に関しては、V-CUBE Oneという一括契約プランで契約が可能。V-CUBE Oneは、1ポートあたり¥5,500(ポート単位)。その他サービスに関しては、V-CUBE トランスレーター、V-CUBE アシスト: ¥30,000(ID単位) V-CUBE ラーニング: ¥300,000(1式)、Zoom(¥5500)
				最低利用契約期間	利用開始日～翌月末
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	あり:解約後の残期間分の利用料相当額	
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	あり:利用期間終了の40日前	
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	99.991%(2018年11月1日～2019年10月31日)	
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン6 対策参照値95%以上	
		サービス停止の事故歴		■障害発生件数(使用停止) 期間:2018年11月1日～2019年10月31日 :計10件 ハードウェア障害(8件) ソフトウェア障害(0件) ネットワーク障害(1件) その他(1件)	
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	システム設備の構内に設置した、監視アプリ(SNMP)によって、サーバリソース(CPU、メモリ、ネットワーク)を常時確認し、閾値を超えた場合にメールで通知を行います。各アプリケーションの監視はサービスの死活監視および、専用のモニターで確認できるようになっています。	
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法(検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		自らサービスを提供しているネットワークの範囲内でアプリ操作に相当するコマンドを送信し、レスポンスを見ることで監視しています。	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
41	サービス品質	サービスパフォーマンスの増強	選択	サーバ、ストレージのリソース使用率が一定の閾値(サーバのCPU使用率が50%等)を超えた場合は増設を検討、ロードバランサーによる負荷分散技術等を採用	
42		認証取得・監査実施	選択	ISMS(JISQ27001:2014(ISO/IEC27001:2013))	
43		個人情報の取扱い	必須	個人情報保護方針に明記	
44		脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	Webサーバ、DBサーバに対して実施
			診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		年次又はリリース毎、問題が検出された実績はなし
45		バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	毎日
			世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	1世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	日次	
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	2011年 ウェブ会議 日本市場シェアリーダーシップ賞 第4回クラウドランキングベストサービス賞(汎用情報系SaaS部門) 第5回クラウドランキングベストサービス賞(汎用情報系SaaS部門) テクノロジー企業ランキングプログラム 第10回「日本テクノロジーFast50」に選出 2012年 ウェブ会議 日本市場シェアリーダーシップ賞 第6回クラウドランキングベストサービス賞(汎用情報系SaaS部門) 第7回クラウドランキングベストサービス賞(汎用情報系SaaS部門) 2013年 ウェブ会議 日本市場シェアリーダーシップ賞 2013年 「第6回 クラウドランキング」でベストサービス(汎用情報系SaaS部門)選出 2013年 ウェブ会議 日本市場シェアリーダーシップ賞 2013年 第7回 クラウドランキング」でベストサービス(汎用情報系SaaS部門)選出 2014年 第8回 クラウドランキング」でベストサービス(汎用情報系SaaS部門)選出 2014年 ASPIC主催「ASP・SaaS・クラウドアワード2014」「ベスト海外展開賞」受賞 2014年 第9回 クラウドランキング」でベストサービス(汎用情報系SaaS部門)選出 2015年 第10回 クラウドランキング」でベストサービス(汎用情報系SaaS部門)選出 2016年 総務省「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」選出	
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付しません	
49	サービス利用量	利用者数	選択	7808ユーザー(ユーザーID別)	
50		代理店数	選択	569社	
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等					
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	V-CUBE ミーティング、V-CUBE セミナー、V-CUBE Gate、V-CUBE コンタクトセンター	
		主要ソフトウェアの概要	必須	apache PHP MySQLによりWEBサイトを構築、FlashMediaServerによりビデオストリームの配信等を行っています。	
52	内容	主要ソフトウェアの提供事業者	必須	株式会社ブイキューブ	
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	なし	
		標準的なAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の名称	選択	公表不可	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容	
54-59	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	アプリケーション: 常時 プラットフォーム: 5分 サーバ・ストレージ: 5分 情報セキュリティ対策機器: なし 通信機器: 5分	
		障害時の利用者への通知時間		障害検出後、1時間以内	
		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	あり	
		時刻同期	必須	NTP、NTPDATE	
		ウイルスチェック	必須○	あり	
		記録(ログ等)	必須○	あり: 最低3ヶ月	
59	セキュリティパッチ管理	パッチの更新間隔(ベンダーリリースからパッチ更新開始までの時間)	必須○	週次でバージョンアップミドルウェア・ソフトウェアの確認を行い、重大なセキュリティホール(修正が含まれていることを発見した場合は、原則としてそこから2週間以内でサービスへの適用を行う。	
- ネットワーク					
60-62	回線	推奨回線	専用線(VPNを含む)、インターネット等の回線の種類	必須	インターネット
		推奨帯域	推奨帯域の有無と、推奨帯域がある場合はそのデータ通信速度の範囲	必須	IDC(サービス提供拠点)と利用者との間のユーザ接続回線は、責任を負いません。
		推奨端末	パソコン、携帯電話等の端末の種類、OS等	必須	Windows、Mac、iPhone、iPad、Android携帯電話、Androidタブレット端末、テレビ電話が使用可能な携帯電話
62	推奨端末	利用するブラウザの種類	必須	<V-CUBEミーティング5> IE7以上、Firefox最新版、Google Chrome最新版 <V-CUBE ミーティング4、V-CUBEコンタクトセンター> IE7以上、Firefox最新版、Safari最新版 <V-CUBE セミナー> IE7以上、Firefox最新版、Safari最新版	
63	セキュリティ	ファイアウォール設置等	ファイアウォール設置等の不正アクセスを防止する措置の有無	必須○	あり
64		不正侵入検知	不正パケット、非権限者による不正なサーバ侵入に対する検知の有無	必須	あり
65		ネットワーク監視	事業者とエンドユーザとの間のネットワーク(専用線等)において障害が発生した際の通報時間	選択	エンドユーザとの間のネットワークにおける障害については当社は関知しません。
66		ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○	あり
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○	ID、パスワードによる認証
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○	有

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
69		なりすまし対策(事業者サイド)	必須	SSL電子証明書採用により「なりすまし対策」としております(認証局発行の証明書による認証)
70		その他セキュリティ対策	選択	なし
-ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	必須	専用
72		所在地	必須	関東
73		耐震・免震構造	必須	震度6強 あり:免震構造
74	非常用電源設備	無停電電源	必須	10分以上給電可
75		給電ルート	必須	A系・B系別ルート給電
76		非常用電源	必須	あり:冗長化発電機/備蓄燃料48時間分
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	必須	あり:窒素ガス消火
78		火災感知・報知システム	必須	超高感度火災予兆検知システム
79	避雷対策設備	直撃雷対策	必須	あり:内部避雷設備
80		誘導雷対策	必須	あり:避雷器 600kV(1.2/50μs)
81	空調設備	十分な空調設備	選択	冗長化空調設備 空冷・床下吹上げ 温・冷気分離システム 局所冷房方式(高密度機器エリア)
82	セキュリティ	入退館管理等	必須	あり:保存期間最低2年
			必須	あり:ITV監視(マシンルーム・共用部)/1年間画像保存
			必須	あり(ICカード)
83	媒体の保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須	あり
		保管管理手順書の有無	必須	あり
84		その他セキュリティ対策	選択	なし

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (8/8)

認定番号: 0108-1012, サービス名称: V-CUBE, 事業者名称: 株式会社ブイキューブ

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	サービス窓口 (苦情受付)	連絡先	必須○	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先 vsupport@vcube.co.jp TEL: 0570-00-2192
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		なし
86	サービス窓口 (苦情受付)	営業日・時間	必須	営業曜日、営業時間(受付時間) 24時間365日対応
		メンテナンス実施時間		窓口用には特別なシステムは使用していない
87	サービス窓口 (苦情受付)	サポート対応	選択	サービスサポートの稼働率の実績値(単位: %)
		放棄率の実績値(単位: %)		
		応答時間遵守率の実績値(単位: %)		
		基準時間完了率の実績値(単位: %)		
88	サービス窓口 (苦情受付)	サポート範囲・手段	必須	サポート範囲 当社サービスにまつわる対応全般
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール、Webからの問い合わせ、当社サービスを利用したオンラインサポート窓口
89	サービス保証・継続	サービスダウンしない仕組み	必須	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負分散等) サーバ冗長化によって実施
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	ASP・SaaS事業者の事故責任の範囲と補償範囲が記述された文書の有無、有る場合はその文書名称 あり: 利用規約
91	サービス通知・報告	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	必須○	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述) 2週間前
		告知方法		サービスのウェブサイトへ告知を掲載するほか、サービス利用ユーザへメール配信で告知を実施
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		あり
92	サービス通知・報告	障害・災害発生時の通知	必須○	障害発生時通知の有無 あり
93	サービス通知・報告	定期報告	必須	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等) なし: 障害発生時のみWebサイトで告知、定期報告は別途ご依頼頂いた場合に対応します。

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。